



1月・2月の管理ポイント

ホームページアドレス
<http://www.tomo-green.com/>

第91号



明けましておめでとうございます。

昨年は、**抗ストレス剤『レボ』**をはじめ、弊社商品を多くのゴルフ場の皆様にご利用頂きまして、誠にありがとうございました。

今後もゴルフ場の皆様と共に、素晴らしいコース管理のお手伝いをさせていただければ幸いです。本号は、年の初めでもありますので、春先から5月までのレボを中心とした管理ポイントを掲載させていただきます。



春先(3~5月)

春の水管理が芝生の根をしっかりと伸ばすポイントです!!

レボは**土壌粒子の表面を極端に薄い膜で覆います**ので、土壌中の空隙率がアップし、表層の過湿を防ぎます。

この効果が、グリーンの表層を少し乾燥気味にし、根に軽いストレスを与えるため、根の伸長活動を活発にさせます。

定期処理することによって、根が下に伸びやすい環境を整えてやり、夏が来るまでにしっかりと根を伸ばしておきましょう。

4月よりベントの本格的な生育最盛期になります。レボ+光合成細菌を定期処理することで土壌表層の通気性を確保し、昨年末から蓄積されてきた悪臭物質を減らしていきましょう。また地温の上昇に伴い、土着菌の活性も上がって行きます。

最初に土着菌の勢いを付けさせるために、動物性アミノ酸たっぷりのマリンパワーを処理して、土壌を動かしておきましょう。

使用量：レボ	2ml/m ²	散布水量：200ml~1L/m ²	散布回数：1ヶ月に1回
光合成細菌	1~2ml/m ²	散布水量：1L/m ²	散布回数：1ヶ月に1~2回
マリンパワー	2ml/m ²	散布水量：1L/m ²	散布回数：1ヶ月に1回

ケラの生態について

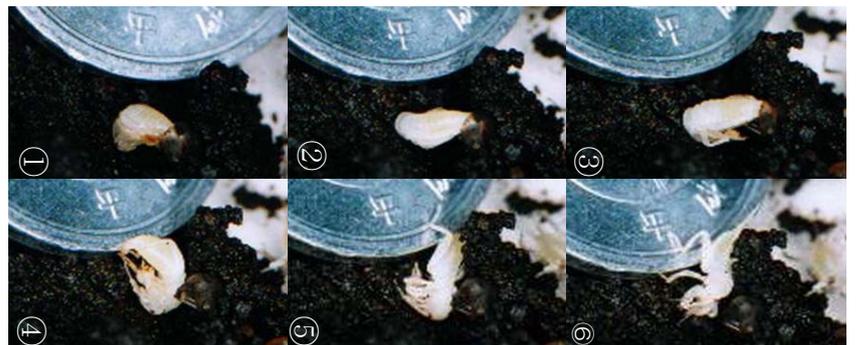
昨シーズンは、全般的に害虫の発生も少なく、比較的防除も楽だったという話をよく耳にしましたが、ケラについては苦労されているキーパーさんが多かったように感じました。

今回は、ケラの生態について簡単に紹介していきたいと思います。

年1回の発生で5～9月の間に産卵し、幼虫、成虫どちらでも越冬することができる。成虫の行動は、日没後摂食のため表層近くに現れる。一晩で3～6m掘り進み、降雨後や灌水を行った後の暖かい日は特に活発に活動する。日中は地中で留まっており、乾燥が続いたり寒い日が続くと、ずっと一箇所に留まったまま動かない。



卵
地下1～5cmに卵室を作り、20～30個の卵が産み付けられている。
卵期間は25℃条件下で10～20日とコガネムシやゾウムシに比べると長い



孵化直後
孵化した仔虫は、乳白色で、このように頭から殻を破り、体をくねらせながら脱出する。体長は5～6mm程で孵化後既に成虫と同様の形態をしている。



仔虫(幼虫)
孵化後2～3日で写真のように黒褐色になる。羽はまだ生えていないが、10～15cm程度は飛び跳ねることができる。
植物の根や有機物、土壤微生物を摂食する。



成虫
比較的湿った土中に生息し、穴を掘って行動する。ゴルフ場では水分が十分あるペントグリーンおよびその周辺で急増し、地表近くで生息孔を掘るため芝生の根が浮き上がり枯死させてします。